

高等部Dスタディ（生活単元学習）月グループ 学習指導案

日 時：令和4年11月18日（金）9：20～10：10

場 所：高等部多目的室

指導者：小川順子（T1）今井彩（T2）

1 単元名

お悩み解決！ ～運動部からのSOS～

2 単元目標

- (1) 動画の制作を通して、相手に伝わりやすい表現方法を知る。
- (2) 自分の考えを伝えたり、友達の意見を聞いたりしながら話し合い活動をする。
- (3) 互いのよさを生かしながらお悩み解決に取り組んだり、伝わることの喜びを知ったりする。

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本グループは、3年生男子1名、2年生男子2名、女子1名、1年生男女各1名の6名で構成されている。自分の好きなヒト・モノ・コトを自覚しており、自分から関わろうとすることがあるが、同じ内容の繰り返しが多く、より多く、より詳しく情報を得ようとすることは少ない。(自分を知る)

全員がタブレット端末の操作には慣れており、学習場面で活用したり、自分の興味のあることを検索したりしているが、インターネットの情報から要点を読み取ることは難しい生徒が多い。また、過去に動画制作について学習しており、興味をもっている生徒が多い。(情報を集める)

未経験のことには、自信がもてず消極的になりがちではあるが、自分のできることで挑戦しようとする気持ちはあり、周りの人の言葉掛けを受けて、行動できる生徒が多い。自分が経験したことや友達の様子を見るなどして覚えたことは、見通しをもって活動に取り組むことができる。(試す)

友達と関わることを好むが、改まった場面で自分の気持ちや考えを適切に伝えることが苦手な生徒が多い。話し合い活動においては、テーマを絞ることで意見が出しやすくなり、どの意見がよりよいかを考えることができるようになってきている。(人と関わる)

(2) 単元設定理由

本単元では、「私の応援計画」に記載された「思い」「願い」を自分たちの力で実現していけるよう、生徒たち自身の希望を叶える方法を探す活動を行う。これまでは「痩せる方法を知りたい」「歌がうまく歌えるようになりたい」という希望を叶えるための方法を調べ、まとめる学習を行ったが、生徒の発案から「お悩み解決」としている。自分が考えたことや、タブレット端末を使って調べたことを発表し合ったり、外部講師から指導を受けたりして悩みの解決方法を探ってきた。

今回は、運動部所属の生徒の「もっと上手にプレーできるようになりたい」という悩みの解決方法を探し、分かったことをまとめた動画を部活動で紹介する。本グループは、6人中5人が運動部に所属しており、それぞれの競技での技術向上を目指しているため、学習に意欲的に取り組むことができると考える。また、生徒それぞれの希望や思いを全員で共有していくため、友達に自分の気持ちを分かりやすく伝える場面が設定できる。そして、他の運動部員の悩みも解決できるような動画作りを心掛けるため、見る人を意識した分かりやすい表現を考える機会にもなる。

解決方法を探る過程では、友達同士で関わり合い、いろいろな意見を出し合う話し合いの場を多く設定し、自分の意見に自信をもって発表したり、お互いの考えを認めたりする機会をもちたいと考える。少数の意見で決まることがないように、できるだけ多くの意見を集め、互いの考えを認め合いながら話し合う中で、生徒たちがよりよい選択肢を選ぶことを期待したい。

話し合い活動の中で、生徒それぞれが抱く希望や思いを伝え合う場面を多く設定したり、動画撮影や字幕編集の中で、生徒一人一人が色々な役割を担ったりすることで、お互いの考えや得意なことなどを知る機会にしたい。さらに、「お悩み」の解決方法を探る過程で得られた経験を生活に取り入れることで、余暇の広がりやきっかけにもなり得ると考える。

以上のことから本単元を設定した。

(3) 指導について ※わかはとモデル「授業における生涯学習力を高める要素」との関連

授業づくりの工夫	関連する要素
<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって自分の意見を発表できるように、全員に発表の機会を設定し、それぞれの考えを受け止める。 ・自分と友達の意見をカテゴリー分けしたり、比較したりできるよう、個々の意見を小さいホワイトボードに書き、話し合いの場面に合わせて移動させる。 	自分を知る 情報を集める 人と関わる
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを整理して発表できるよう、発表の形を決め、提示する。 ・動画の撮影では、カメラマンや演者など、それぞれの立場からの考えが分かるよう、全員が全ての担当を経験できるように場を設定する。 	自分を知る 試す 人と関わる 情報を集める
<ul style="list-style-type: none"> ・本物に触れることで意欲的に課題解決に臨めるよう、プロスポーツチームの指導者に講師を依頼し、実技指導していただく。 	人と関わる 情報を集める

4 単元活動（総時間数 19 時間）

学習内容	高めたい要素	主なねらい
今回の「お悩み」は？（2時間） <ul style="list-style-type: none"> ・解決したい「お悩み」を知る。 ・解決方法を考え、話し合う。 	(人) (情) (自)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が知りたいこと、身に付けたい技術を他の人に伝える。 ・理由を付けて、自分の考えを発表する
教えてください！（8時間） <ul style="list-style-type: none"> ・運動部員へのインタビューを実施し、集計する。 ・質問することをまとめる。 ・依頼のビデオレターを作る。（撮影、字幕編集） ・プロスポーツチーム（サッカー）の指導者から実技講習を受ける。 ・プロスポーツチーム（バスケット）の指導者から実技講習を受ける。 	(人) (試) (自)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知りたいことを具体的に話す。 ・伝えたいことを明確にし、ビデオレターの場面構成を考える。 ・見る人を意識してビデオを撮影したり、編集したりする。 ・慣れない相手にも自分から質問をするなど、問題解決に向けて意欲的に行動する。 ・外部講師からの実技指導を経験する。
教わったことをまとめよう （8時間 本時5／8） <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを見ながら要点をまとめる。 ・映像の動きや音声に合わせて字幕を付ける。（本時） 	(人) (情) (試)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを見ながら、プレーする上で大切なポイントに気付き、書き表す。 ・理由を付けて自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりして、よりよい意見を選ぶ。 ・伝わりやすさを意識して字幕のレイアウトを考える。
学習発表会をしよう（1時間） <ul style="list-style-type: none"> ・グループで学習したことを発表する。 	(人)	<ul style="list-style-type: none"> ・役割を決め、協力して発表する。

(人)：人と関わる (情)：情報を集める (試)：試す (自)：自分を知る

5 生徒の実態と目指す姿

生徒	実 態	単元を通して目指す姿
A	部活動では、技術向上に対する意識は高い。自分から新しいことに挑戦することは少ないが、友達と一緒にだったり、提案されたりした場合は嫌がらずに取り組む。自分から進んで発言することは少ないが、意見を求められると自分なりの考えを話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知りたいことを積極的に相手に質問したり、分からないことを報告したりする。
B	部活動では、自分が苦手なプレーの上達を希望している。経験の少ない活動であっても、提案されると嫌がらず取り組む。趣味や好きなことが多いが自分から積極的に情報を得ようとするのは少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 自分が経験したことの中から情報を見つけ出し、意見を話す。
C	部活動には意欲的に参加している。苦手な活動に対しては消極的だが、興味のあることには意欲的に取り組む。友達の意見と比較することは難しいが自分の考えをもち積極的に発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見を聞き、それぞれのよい点に気づき、自分の考えと比較してよりよいと思う案を選ぶ。
D	友達と一緒に活動することを好む。経験の少ない活動でも嫌がらずに取り組むことができるが、先を急ぐあまり、説明を最後まで聞かないで行動することがある。動画の制作に興味をもっている。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を最後まで聞いて、自分の意見と友達の意見を比較する。
E	部活動には意欲的に参加している。やりたいことや自分の意見はしっかりともってはいるが、自分の意見に自信がもてなかったり、周りの反応を気にしすぎたりすることがある。初めての活動でも、意欲的に参加できる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見に理由を付けながら発表する。
F	自分の興味のあることには長い時間取り組むことができる。自分の中で課題を解決し、他者の考えを意識することが苦手である。自分から積極的に意見を出すことは少ないが、複数の選択肢から自分のやりたいことなどを選び発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞き、複数の意見の共通点を見つけたり自分がよいと思う案を発表したりする。

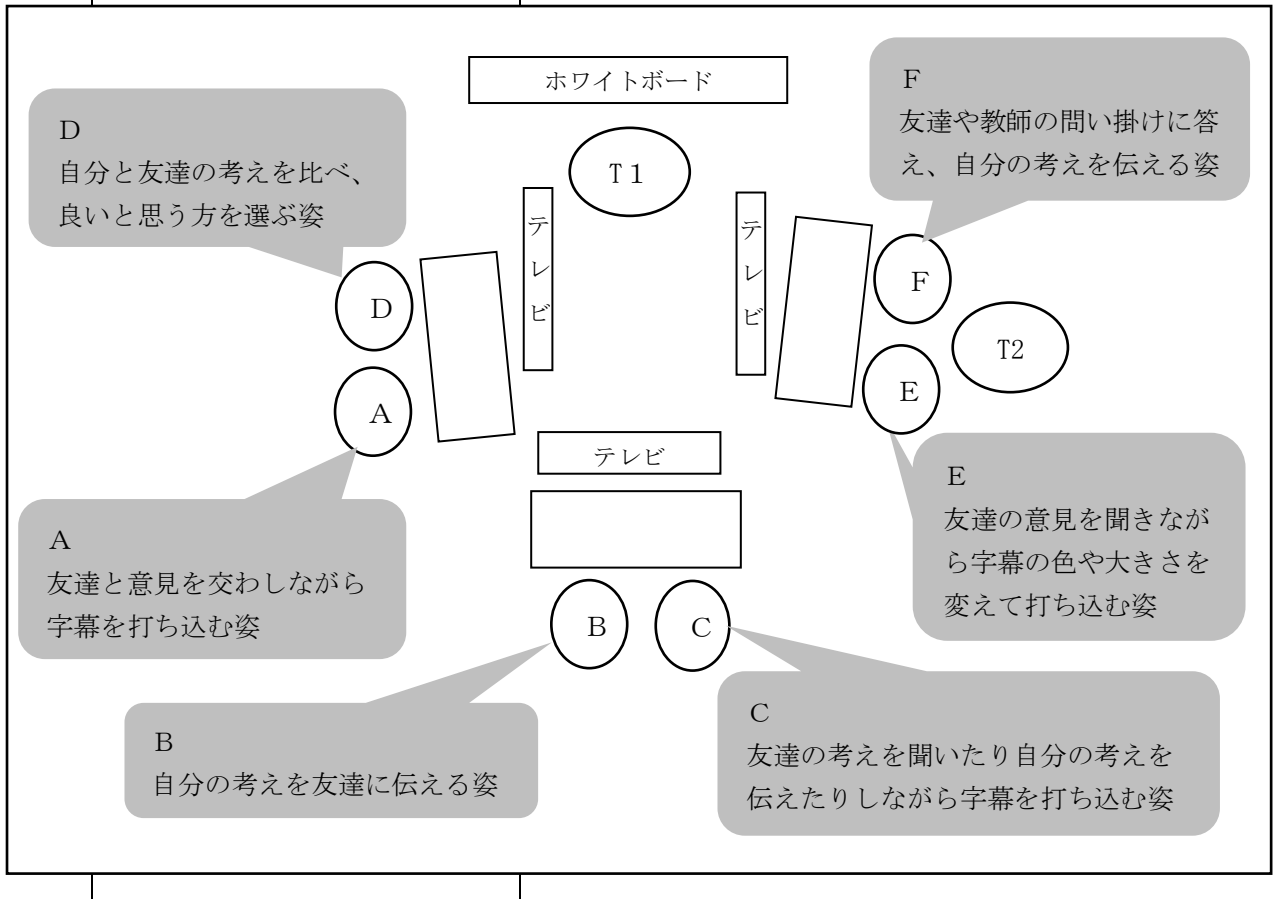
6 本時の計画

(1) 本時のねらい

- ・グループごとに、見やすい字幕について自分の考えを出し合う。
- ・他のグループの字幕のよい点、改善点などを発表する。


(2) 学習過程

時間	学習活動	教師の働き掛け・留意点
3分	1 本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><くめあて> 動画に見やすい字幕をつけよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を思い出し、本時の活動に見通しをもつことができるよう、前時までの学習について質問をする。 ・前時までに学習していた「字幕を付けるときのポイント」を思い出すことができるよう、「字幕を作るときに気を付けることは何でしたか？」などと質問する。
23分	2 グループごとに字幕を打ち込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換がしやすいよう、グルーピングを工夫する。 ・T2はEとFが意見を話すことができるよう、話合いの補助に入る。 ・途中で動画を見る人を意識して工夫した点を各グループに聞き、全員で共有する。
20分	3 各グループが作成した字幕のよい点、改善点を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表しやすいように「工夫した点」「迷っている点」など発表のパターンを提示する。 ・全員が意見を発表するルールにし、意見が出ないときは指名を促す。 ・改善の意見が出たときは、その場で変更できるよう、T2が補助する。



- A : ●自分のグループが作った字幕の工夫した点や悩んでいる点などを発表する。
→自分や友達の意見を思い出すことができるよう、「どのような話し合いをしたの？」などと言葉を掛ける。
- B : ●友達の問い掛けに対し、自分の考えを話すことができる。
→答えに悩んでいるときは「どっちがいいと思う？」などと言葉を掛ける。
- C : ●自分のグループが作った字幕について、理由を付けて説明する。
→工夫した点などを話すことができるように「〇〇と思ったので」などという発表の例を提示する。
- D : ●自分と友達の考えを比較して良い方を選び、その理由を話すことができる。
→考えをまとめることができるよう、「〇〇と思ったんだね」などと言葉を掛ける。
- E : ●友達の文字を打ち込む速さに合わせて、字幕の内容を伝える。
→打ち込んでいる様子が見えるよう、モニターを見やすい位置に置く。
- F : ●自分が見やすいと思う時の色や大きさについて、友達に伝えることができる。
→答えやすいように「このままでいい？大きい方がいい？」などと言葉を掛ける。

4分	<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループがどこまでできたかを全員で確認する。 今後の学習予定を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成していない場合は、これからどのように字幕を作成、修正していくか分かりやすいように、具体的に確認する。
----	---	--

 本時の予想される児童・生徒の姿(評価の視点)

● 個別のねらい

→ 手立て

7 評価

(生徒)

- 友達と自分の考えを伝え合いながら見やすい字幕を打ち込むことができたか。
- 他のグループの字幕を見て、思ったことを発表できたか。

(教師)

- グループで相談しながら見やすい字幕を打ち込むための環境作りは適切だったか。
- 話し合いで、生徒が自分の考えを発表できるような手立ては適切だったか。